

cheero

取扱説明書

cheero Wireless Earphones with Bluetooth®5.0

型番 CHE-624
日本語版

内容物

本体及び付属品が同梱されていることをご確認ください。

本体 (LR ペア) / 充電ケース 充電用 USB-A to USB-C ケーブル



取扱説明書・保証書



イヤーピース (S×2, M×2, L×2)



安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	注意すること		してはいけないこと		必ず行うこと
--	--------	--	-----------	--	--------

危険

■バッテリーについて

本機には、イヤホン本体 (LR) および充電器ケースにリチウムイオン電池が内蔵されています。発熱、発火、液漏れ等为避免するため、以下の注意事項を必ず守ってください。

- 異臭や発熱、ひずみ、変色などの異変に気づいたら使用を続けず、発熱や発火、液漏れの原因となります。
- 分解・改造しない
発熱や発火、感電の原因となります。
- 火の中に入れて、火のそばや炎下などで充電したり、放置したりしない
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電解液が漏れている場合は使用を続けず、発熱や発火、液漏れの原因となります。

警告

- 故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源を切る
 - 煙が出ている、変なにおいや音が出る
 - 本機を落としてしまった
 - 本機内部に水が入ってしまった
 このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切って販売店あるいは当社修理ご相談窓口にて修理・点検を依頼してください。
- 分解・改造しない
火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店あるいは当社修理ご相談窓口にて依頼してください。
- 長時間大きな音で使用しない
本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれるおそれがあります。
- 小さなお子様の手の届くところで使用・保管しない
ご使用後はイヤホン本体を充電ケースに入れて、お子様の手の届かないところに保管してください。
感電やけが、誤飲の原因となります。
- 自転車、オートバイ、自動車または機械類の運転操作をしない
運転操作中はもちろん、それ以外でも、踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では、使用しないでください。
- 水につけない
本機のイヤホン本体は防滴形状 (水の噴射を直接浴びても有害な影響がない) ですが、以下のことにはご注意ください。
 - 風呂やプールなどに沈めない
 - 強い噴流水を与えない
- 水蒸気や水のかかる所に置かない
本機の充電ケースは防水防滴形状ではありませんので、水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
 - 濡れたままの本体を収納しない
 - 風呂場や脱衣場など湿度の高い場所では使用しない
 - 調理台や加湿器のそばには置かない
 - 雨や雪などがかかるところで使用しない
- USB-C 入力は定期的に掃除する
USB-C 入力口ほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。充電用ケーブルを外し、乾いた布でほこりを取り除いてください。
- 電解液が漏れた時は素手で液をさわらない
液漏れが発生した時は販売店あるいは当社修理ご相談窓口にご相談ください。液が目に入った時は失明の恐れがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。液体が衣服に付いた時は皮膚のけがやけどの原因となるのできれいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。

■充電用 USB-A to USB-C ケーブルについて

- 充電用ケーブルを傷つけない
 - ケーブルの上に重い物をのせない
 - 傷つけたり、加工したりしない
 - 熱器具などに近づけない、加熱しない
- 充電用ケーブルが傷んだら (芯線の露出・断線など) 使用を中止してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 充電用ケーブルを鋭い角度で曲げたり、無理にねじったり、引っ張ったり、無理な力を加えない
内部の線材や端子が破損して火災・感電の原因となります。
- 充電中に電気が噴きだしたら、充電用ケーブルに触れない
感電の原因となります。

■電波について

- 心臓ペースメーカーを装着されている場合は使用しない
病院によりペースメーカーの動作に影響を与える原因となります。
- 病院などの医療機関内、医療用機器の近くや、飛行機の中では使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。
- 他の機器に電波障害などが発生した場合使用を中止する
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

注意

- 音量を上げすぎない
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。始めから音量を上げ過ぎず、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。
- 肌に合わない場合は使用を中止する
イヤーピースはシリコンゴムを使用しているためアレルギー反応が出る可能性があります。
- 移動させる際は充電用ケーブルをはずす
移動させる際は、安全のため充電用ケーブルを抜いてから行ってください。USB-C 入力口や USB-C 端子が破損することがあります。
- 20~60°C 以外の場所で使用しない
内蔵バッテリーが液もれ・発熱・破裂する原因となります。
- 発熱時は充電用ケーブルをはずしてしばらく放置する
発熱や発火の原因となります。
- ベットがいているところで使用・保管しない
感電やけが、誤飲の原因となりますので、ご使用後はイヤホン本体を充電ケースに入れて、ベットに触れないところに保管してください。とくにイヤーピースの誤飲にご注意ください。

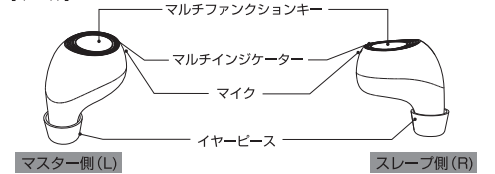
■電波について

本機が使用する周波数帯 (2.4GHz) では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の機内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。他の機器との干渉を防止するために、次の点に十分ご注意くださいご使用ください。

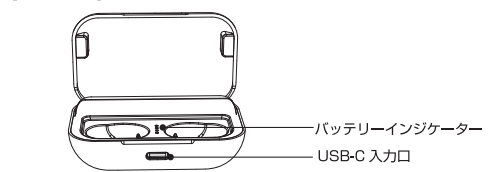
- 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。万が一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合、速やかに使用を停止してください。
- すべての Bluetooth 対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 本機と Bluetooth 対応機器との互換性については、各 Bluetooth 対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、または販売店にお問い合わせください。一部は国で、Bluetooth 対応機器の使用が制限されている場合があります。Bluetooth 対応機器の使用については、お住まいの各自治体にお問合せください。

各部の名称

【本体】



【充電ケース】



イヤーピースの交換方法

イヤホン本体に最初から付いているイヤーピース (M サイズ) 以外に、2 種類の大さき (S、L) のイヤーピースが付属しています。



最初から付いているイヤーピースのサイズは M 相当です。

●イヤーピースを取り外す
イヤーピースをねじりながら外します。



●イヤーピースを取り付ける
イヤーピース取り付け部をノズルにしっかりと差し込みます。差し込みが不完全な場合、使用中にイヤーピースが外れることがあります。

充電する

●イヤホン本体を充電する

イヤホン本体を充電ケースに収納すると、充電ケースのバッテリーインジケータが点灯します。続いてイヤホンのマルチインジケータが赤色に点灯し、充電が始まります。
※バッテリーインジケータは約 1 分で消灯します。
※マルチインジケータが消灯すれば充電完了です。

●充電ケースを充電する

- 付属の充電用ケーブルの USB-C 端子を充電ケースの USB-C 入力口に接続します。
- 充電用ケーブルの USB-A 端子をパソコンまたは USB ACアダプタ (別売) に接続します。
- バッテリーインジケータが白く点滅します。
※インジケータがすべて点灯すれば充電完了です。
※充電時間は約 2 時間です (初回充電時はさらに時間がかかる場合があります)。
- 充電が完了しましたら充電用ケーブルを外します。
※長時間使用しないとバッテリーが自然放電して劣化しますので、3ヶ月に 1 度程度は本機への充電を行ってください。
※バッテリー残量に応じてバッテリーインジケータが点灯します。

インジケータ	バッテリー残量 (目安)
●●●●	0%
○●●●	1~25%
○●●●	26~50%
○●●●	51~75%
○●●○	76~100%

■ご使用に際して

スマートフォンなど Bluetooth 対応機器の音声・楽曲をワイヤレスで楽しむことができます。

※本機をイヤホンとして使うには Bluetooth 対応機器が A2DP プロファイル、またはアンプフリー通信を行うには HFP プロファイルをサポートしている必要があります。なお、すべての Bluetooth 対応機器との接続動作を保証するものではありません。

電源の入れ方 / 切り方

●電源の入れ方

充電ケースからイヤホン本体を取り出すと、自動的に電源が入り、「パワーオン」というアナウンスが流れ、マルチインジケータが青く点灯した後点滅します。

※充電ケースから取り出した状態で電源が切れてしまったときは、ケースに入れて、マルチインジケータが赤く点灯していることを確認してから取り出すか、L 側 R 側両方のマルチファンクションキーを、マルチインジケータが青く点灯するまで 2 秒間長押しすると、「パワーオン」というアナウンスが流れ、マルチインジケータが青く点滅します。

ここで、以前に Bluetooth 対応機器とペアリングが完了していれば、「コネクティッド」というアナウンスが流れ、自動的にマルチファンクションキー (オートペアリング)、マルチインジケータが赤と青で点灯した後、5 秒間隔で青く 2 回点滅を繰り返します。

●電源の切り方

充電ケースに収納すると、自動的に電源が切れ、マルチインジケータが赤く点灯し充電が始まります。

※充電ケースに入れずに電源を切りたいときは、L 側 R 側それぞれのマルチファンクションキーをマルチインジケータが赤く点灯するまで 4 秒間長押しします。

※次項のペアリングモード (マルチインジケータが赤と青の交互点滅) のときは L 側 R 側いずれかのマルチファンクションキーを、マルチインジケータが赤く点灯するまで 4 秒間長押しすると、「パワーオフ」というアナウンスが流れ、L 側 R 側とも電源が切れます。

Bluetooth 対応機器とペアリング (機器登録) する (ペアリングモード)

Bluetooth 対応機器と接続するには、はじめに 1 回だけペアリングを行う必要があります。事前に Bluetooth 対応機器の「Bluetooth 設定機能」を有効 (オン) にする方法や「接続操作」の操作手順をお調べください。

1. イヤホン本体を充電ケースから取り出すと自動的に電源が入り、「パワーオン」というアナウンスが流れ、マルチインジケータが青く点滅します。

※イヤホン本体が充電ケースに入っていないときは、まず充電ケースに入れて、マルチインジケータが赤く点灯することを確認してください。

電源が入ると、マスター (L) 側とスレープ (R) 側の間で自動的にステレオペアリングが行われます。ステレオペアリングが完了すると「ペアリング」というアナウンスが流れ、マルチインジケータが赤と青で点灯した後、Bluetooth 対応機器とのペアリングモードを知らせる赤と青の交互点滅になります。

※電源が入らないときは充電してください。
※ペアリングされた機器が見つからないときは自動的にペアリングモードになります。
※ペアリングモードでも何もしないと約 5 分で、マルチインジケータが赤く点灯したのち電源が自動的に切れますので、それまでにペアリングを完了してください。

2. Bluetooth 対応機器の Bluetooth 設定機能有効 (オン) にします。Bluetooth 対応機器の画面に表示される「CHE-624」を選んでください。

接続が完了すると「コネクティッド」というアナウンスが流れ、マルチインジケータが赤と青で点灯した後、5 秒間隔で青く 2 回点滅を繰り返します。

※Bluetooth 設定機能を解除 (オフ) にするとペアリングが解除され、「ディスコネクティッド」「ペアリング」というアナウンスが流れ、マルチインジケータがペアリングモードを知らせる赤と青の交互点滅になります。

Bluetooth 接続で再生する

1. Bluetooth 対応機器の接続操作を行います。

※最後にペアリングした Bluetooth 対応機器の電源が入っており、そばにあると、イヤホン本体を充電ケースから取り出さずだけで、Bluetooth 対応機器と自動的に再接続します。

※Bluetooth対応機器の電源を切ったり、Bluetoothが届く範囲から外れると、ペアリングが解除され、「ディスプレイ」に「ペアリング」というアナウンスが流れて、マルチインジケータがペアリングモードを知らせる赤と青の交互点滅になります。このとき Bluetooth 対応機器の電源を入れ直したり、Bluetooth が届く範囲に入っても、ペアリングがうまく行けないときがあります。その場合はイヤホン本体をいちど充電ケースに戻し、マルチインジケータが赤色に点灯するのを確認してから取り出すか、L 側 R 側いずれかのマルチファンクションキーを長押しして電源を切り（両側とも切れます）、こんどは L 側 R 側のマルチファンクションキーを同時に 2 秒間長押しして再度電源を入れ直してください。

2. 本機あるいは Bluetooth 対応機器を操作して音声を再生するとマルチインジケータが 5 秒間隔で青く点滅を繰り返します。音声が発生すると、マルチインジケータは 5 秒間隔で青く 2 回点滅を繰り返します。

※音量の調整は Bluetooth 対応機器で行います。

※イヤホン本体のバッテリー残量がなくなると「バッテリーロー」というアナウンスが 1 分ごとに流れますので、すぐに充電ケースに収納して充電を行ってください。

※さらにバッテリー残量が少なくなると（約 3 分）自動的に電源が切れます。

●音楽の再生操作

Bluetooth 対応機器が AVRCP に対応している場合、イヤホン本体から以下の操作が可能です。

マルチファンクションキー

L 側のマルチファンクションキー

- 1 回押すことに再生 / 一時停止を繰り返します
- 2 回押すと曲の頭に戻ります

R 側のマルチファンクションキー

- 1 回押すことに再生 / 一時停止を繰り返します
- 2 回押すと次の曲に進みます



●ふたりで片側ずつ使うとき

イヤホン本体は左右対称の形を「しており、L 側 R 側どちらのイヤホンを、左右どちらの耳に装着してもしっかりとフィットします。ふたりで片方ずつ使う場合も、利き耳でない方に装着する必要はありません。

1. Bluetooth 対応機器とペアリングを終了している場合は、ペアリングを解除します。

※接続を解除するだけでなく、登録を解除します。

2. L 側、R 側ともマルチファンクションキーをマルチインジケータが赤く点灯するまで 4 秒間長押しして、電源を切ります。

3. L 側、R 側どちらかのマルチファンクションキーを、マルチインジケータがペアリングモードを知らせる赤と青の交互点滅になるまで、4 秒間電源を長押しして電源を入れます。
※このとき、もう片側の電源は入れないでください。

4. Bluetooth 対応機器の Bluetooth 設定機能を有効（オン）にし、Bluetooth 対応機器の画面に表示される「CHE-624」を選びます。ペアリングが完了すると「コネクティッド」というアナウンスが流れ、マルチインジケータが赤と青で点灯した後、5 秒間隔で青く 2 回点滅を繰り返します。

5. つぎに、もう片側のイヤホン本体のマルチファンクションキーを、マルチインジケータがペアリングモードを知らせる赤と青の交互点滅になるまで、4 秒間電源を長押しして電源を入れます。

※このとき、赤と青の交互点滅になる前に長押しを止める（青色の点灯のときに止める）と、最初に設定したイヤホン本体と自動的にステレオペアリングが行われてしまいます。

6. もうひとつの Bluetooth 対応機器の Bluetooth 設定機能を有効（オン）にし、Bluetooth 対応機器の画面に表示される「CHE-624」を選びます。

※再びステレオイヤホンとして使いたい場合は、それぞれの Bluetooth 対応機器とのペアリングを解除し、再度 LR ペアで Bluetooth 対応機器とペアリングします（ペアリングモードの項参照）。

よくある質問

Q: Bluetooth 対応機器が操作できるようになるまでの間に「ピンポン」という音がイヤホンから聞こえるのですが、これは何ですか。	A: L 側と R 側が通信を行ってステレオペアリングを行っているところです。
Q: 市販のイヤークリップを取り付けることはできますか。	A: 奥行きが大きいと充電ケースに収まらないことがあります。
Q: 付属のイヤークリップは水洗いできますか	A: イヤークリップはシリコン製ですので、取り外して水洗いすることができます。
Q: Bluetooth 対応機器の Bluetoothバージョンが 4.0 なのですが、使用できますか	A: 使用できます。
Q: 同じ曲をふたたびで聴くことはできますか	A: たとえば、ひとつのスマホやパソコンなどにつながったイヤホン本体の、L 側、R 側をそれぞれふたたびで使えば、同じ曲をふたたび聴くことができますが、通常楽曲はステレオ録音されていますので、L 側、R 側だけを聴くと違和感があるかもしれません。 そのような場合はスマホやパソコン側で「モノラル再生」を選択すると、L 側、R 側とも同じ音が出ますので、違和感が少なくなる人が多いです。

ライセンスと商標について

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ティ・アール・エイ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

故障かな？と思ったら

電源が入らない	本体（イヤホン）のバッテリー残容量が不足している → 本体を充電してください。
充電できない	本体が充電ケースに正しく装着されていない → 装着後、マルチインジケータが赤色に点灯すると正しく装着されています。
ペアリングできない	本機と近づくまで Bluetooth が離れすぎている → なるべく近づけてからペアリングしてください。
Bluetooth に接続できない	本機の電源が入っていない、あるいは Bluetooth 対応機器の電源が入っていない → 本機の電源を LR とも入れてください。また Bluetooth 対応機器の電源も入れてください。 Bluetooth 対応機器の Bluetooth 機能が OFF になっている → Bluetooth 機能を ON にしてください。
音がでない	本機の電源が入っていない、あるいは Bluetooth 対応機器の電源が入っていない → 本機の電源を LR とも入れてください。また Bluetooth 対応機器の電源も入れてください。 Bluetooth 対応機器の出力先設定が「CHE-624」になっていない → 「CHE-624」を選択してください。 Bluetooth 対応機器の音楽が再生されていない → 音楽を再生してください Bluetooth 対応機器がミュートになっていたり、音量が小さい → ミュートを解除したり、音量を適切に上げてください。
音がはずんだりノイズが出る	本機と Bluetooth 対応機器との間に障害物がある → 障害物を取り除いてください。 近くに 2.4GHz 帯の電波を発する無線機器や電子レンジなどの機器がある → それらの機器の使用をやめ、機器から十分離れてください。 本機と Bluetooth 対応機器との距離が離れすぎている → 本機と Bluetooth 対応機器との距離を縮めてください。
思った以上に通信距離が短かったり、音が途切れたりする	近くに 2.4GHz 帯の電波を発する無線機器や電子レンジなどの機器がある → それらの機器の使用をやめ、機器から十分離れてください。
L 側（左側）の電池が先になくなる	仕様であり不具合ではありません。 → R 側（右側）は L 側より 1~2 時間長く使えます。このときモノラルになりますが、L 側を充電しながら R 側を使うことができます。

主な仕様

品名	cheero Wireless Earphones with Bluetooth® 5.0
型番	CHE-624
Bluetooth Ver	Ver. 5.0
対応プロファイル	A2DP/AVRCP/HSP/HFP
対応コーデック	SBC, AAC
最大通信距離	10 m
再生周波数帯域	20Hz~20KHz
防水仕様	IPX5
バッテリー容量	40mAh (本体) / 580mAh (充電ケース)
入力 (充電ケース)	5V / 500mA max
充電時間	約 1 時間 (本体) / 約 2 時間 (充電ケース)
再生時間 (本体)	約 4 時間 (通話のみ) / 約 5 時間 (音楽再生のみ)
再生時間 (充電ケース)	約 30 時間 (本体 LR への充電回数 5~6 回分)
待受時間	約 75 時間
寸法	26×26×17mm (本体) / 75×45×32mm (ケース)
重量	4.4 g (本体) / 43 g (ケース)

※特に記載がない限り「本体」は片側だけのことです。

修理ご相談窓口のご案内

製品に不具合がございましたら、不具合内容、ご購入店舗を、下記問合せ先までご連絡ください。ご注文番号がある場合は、ご注文番号もお知らせください。

お問い合わせ先：ティ・アール・エイ株式会社
E メール：love@cheero.jp
URL：cheero.net

保証書

- ①保証書をご提示又は送付いただく事で、無料修理又は同等の製品と交換させていただきます。
- ②この保証書は cheero Wireless Earphones with Bluetooth® 5.0 本体および充電ケースの保証です。またご使用に際して携帯電話、その他の音楽データ各種メモリー内容に関する損害などの保証をするものではありません。
- ③保証（修理）の際には納品書（注文番号がわかるもの）が必要となりますので、保証書と一緒に保管しておいてください。
- ④本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- ⑤保証期間内でも改修の場合には保証の対象外となります。

- ※使用上の誤り、改造や不当な修理による故障または損傷
- ※お買い上げ後の輸送、落下などによる故障または損傷
- ※不適当な保管、保存による故障または損傷
- ※火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、煙害、などによる故障または損傷
- ※本書のご提示がない場合
- ※その他、当社の責任とみなされない故障または損傷

保証期間	お買い上げ日より 1 年間
商品名	cheero Wireless Earphones with Bluetooth® 5.0
お買い上げ日	年 月 日

ティ・アール・エイ株式会社 住所：大阪市中央区北浜東 6 番 6 号

ハンズフリーで通話する

Bluetooth 対応機器が携帯電話やスマートフォンなど電話機能を持っている場合、電話が掛かってくると、マルチインジケータが青く点滅し、イヤホン本体から電話のコール音が聞こえます。このとき、L 側あるいは R 側のマルチファンクションキーを押すと通話ができます。

※マルチファンクションキーを押す代わりに、Bluetooth 対応機器で本機を選択することもハンズフリーで使用することができます。

※音声を再生中に電話が掛かってくると、音声ミュートされて電話のコール音が聞こえます。

※コール音は通常携帯電話やスマートフォンなどからも聞こえます。それらからコール音を出したくないときはマナーモードに設定してください。その場合でもイヤホン本体からはコール音が聞こえます。

※電話に出たくないときは L 側あるいは R 側のマルチファンクションキーを 2 回押しします。

※通話を終了したいときはもう一度 L 側あるいは R 側のマルチファンクションキーを押します。

片側ずつ別々に使う（デュアルマスターモード）

本機は通常 L 側（左側）がマスターで、R 側（右側）がスレーブです。マスター側が Bluetooth 対応機器と通信し、スレーブ側はマスター側と通信して音声を再生します。

ところが、このデュアルマスターモードを使用すると、L 側、R 側ともいずれもマスターになる機能を搭載していますので、片側ずつ別々に使用したり、たとえば別々のスマートフォンをもたふたりが、それぞれのスマートフォン用のイヤホン（モノラル）として使用することができます。

●自分自身で片側だけ使うとき

通話用のヘッドセットなどとして、片耳だけに装着したいときは、Bluetooth 対応機器とのペアリングが済んでいれば、充電ケースから片方だけ取り出せば、モノラルのイヤホンとして使用することができます。

※あとからもう一つを充電ケースから取り出すと、自動的にステレオペアリングが行われ、L 側 R 側を使用したステレオイヤホンになります。

※ステレオイヤホンとして使用中に片側だけ充電ケースに戻すと、残ったイヤホンがモノラルイヤホンになります。

※充電ケースから出したたり戻す代わりに、片側だけ電源を入れたり切ったりしても同じように使うことができます。

その他の機能

●リセットする

Bluetooth 対応機器とのペアリングをイヤホン本体側から強制的に解除することができます。どの Bluetooth 対応機器に接続しているかわからなくなったときや、デュアルマスターモードを使用した後にうまく接続できなくなったときなどに使用します。

1. L 側、R 側ともマルチファンクションキーをマルチインジケータが赤く点灯するまで 4 秒間長押しして、電源を切ります。

2. L 側と R 側のマルチファンクションキーを同時に、マルチインジケータが赤と青の交互点滅を繰り返すまで 4 秒間長押しします。

※この状態では L 側 R 側が独立して、それぞれが Bluetooth 対応機器とのペアリングモードになっています。このとき Bluetooth 対応機器からペアリングを行います。

※この状態でいちど充電ケースに入れて、マルチインジケータが赤になったから取り出したり、マルチファンクションキーを 4 秒間長押しして電源を切った後、マルチファンクションキーを 2 秒間長押しして電源を入ると、最後に接続していた Bluetooth 対応機器と自動的にペアリングを行います。

続いて次の「ステレオペアリングする」を行ってください。

●ステレオペアリングする

L 側 R 側のマルチファンクションキーを同時にすばやく 2 回押すと、ステレオペアリング（マスター・スレーブペアリング）が再構築され、L 側と R 側がペアになり、マルチインジケータは赤と青の交互点滅を繰り返します。

この状態で使用したい Bluetooth 対応機器からペアリングを行うことができますようになります。

※この操作のとき、同時に 1 回だけしか押さなければ、最後に接続していた Bluetooth 対応機器と自動的にペアリングを行います。

※この状態でいちど充電ケースに入れて、マルチインジケータが赤になったから取り出したり、マルチファンクションキーを 4 秒間長押しして電源を切った後、マルチファンクションキーを 2 秒間長押しして電源を入ると、最後に接続していた Bluetooth 対応機器と自動的にペアリングを行います。